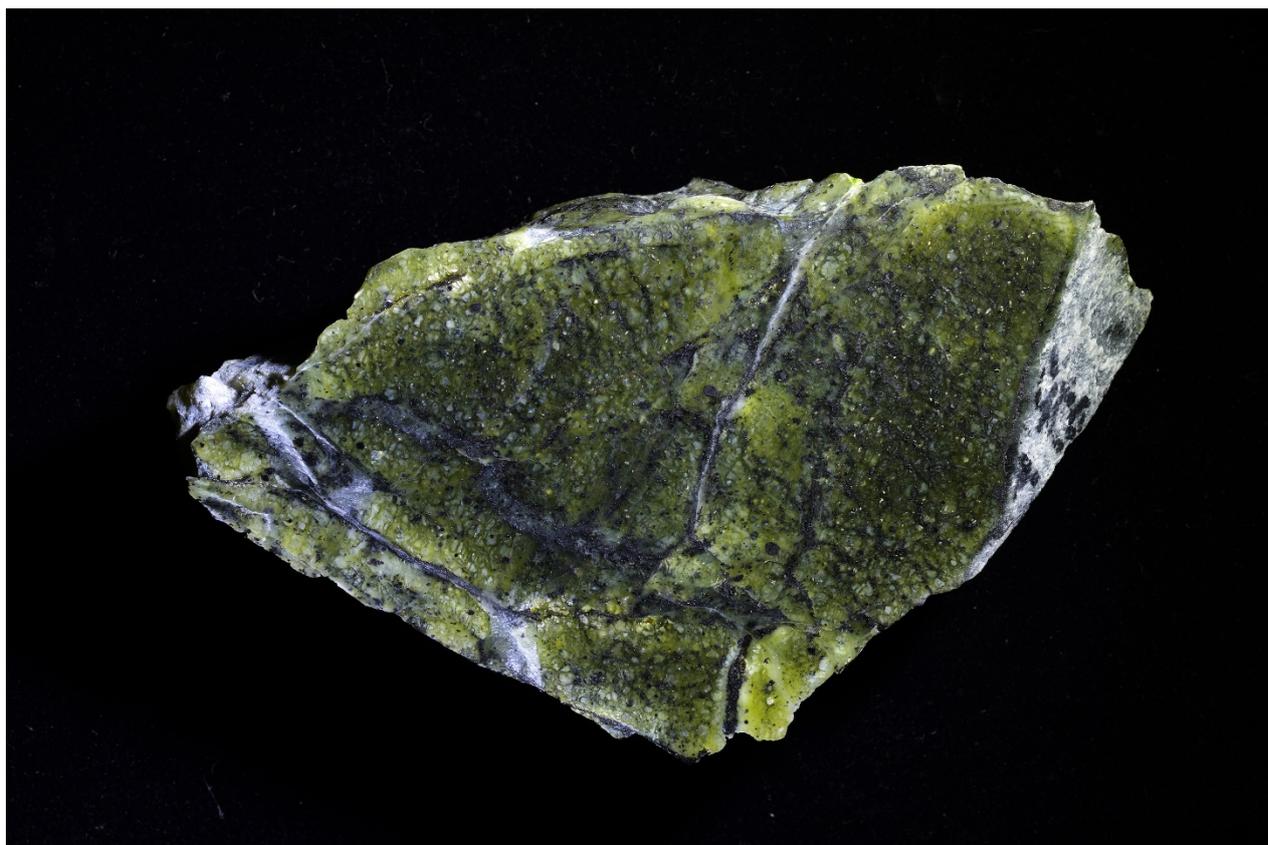


# 埼玉県立自然の博物館報

第18号

令和5年度（2023）



埼玉県立自然の博物館

# 目 次

埼玉県立自然の博物館の使命について	1
I 沿革	2
II 組織及び職員構成	4
III 施設の概要	5
IV 展示の概要	6
V 令和5年度事業計画	
1 管理運営事業	7
2 展示事業	7
3 教育普及事業	8
4 資料収集整理事業	10
5 調査研究事業	10
VI 令和4年度事業報告	
1 管理運営事業	12
2 展示事業	13
3 教育普及事業	17
4 資料収集整理事業	26
5 調査研究事業	29

表紙：蛇紋岩（一面研磨標本）

採集地は大里郡寄居町寄居 荒川河原。三波川帯中に産出。黄緑～緑褐色部は蛇紋石、黒色部は磁鉄鉱よりなる。ニッケル硫化物を含む。原岩はダナイト。

# 埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

## 1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

## 2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

## 3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

## 4 様々な人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

# I 沿革

## 昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定 (長瀨町)
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令 (2 名増員)、建設敷地等について秩父鉄道 (株) と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 1 0 名発令 (5 名増員)
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 1 9 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行  
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9~21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

## 平成

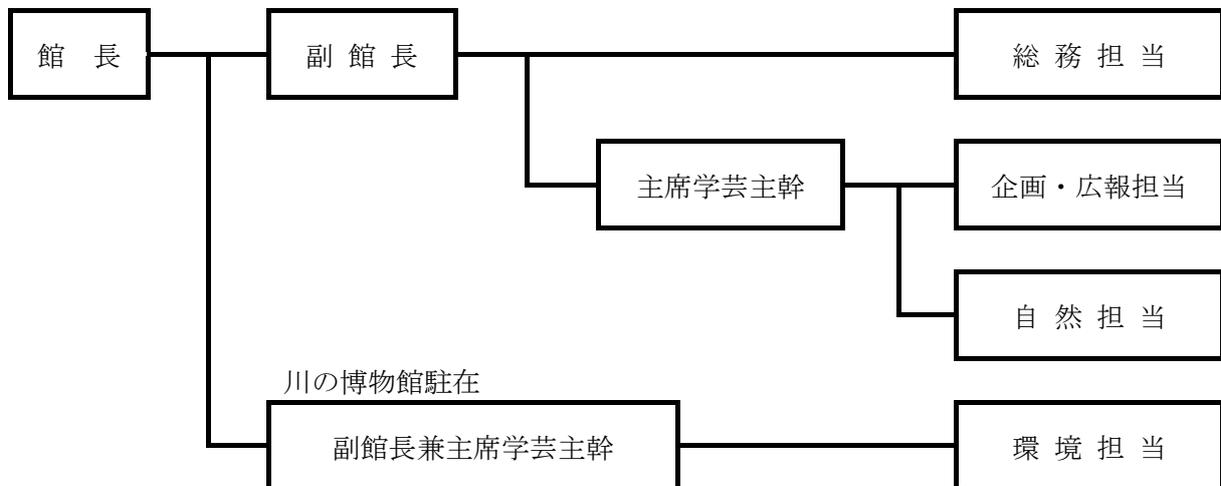
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団から展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19~11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1 ~ 第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定 (埼玉指第 462・463 号)
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17~8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5~12.8 特別展「奥秩父の自然」開催
- 14.10.8~12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村豊写真展」開催

- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.12.27 駐車場改修工事完了(第二工区)
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定(埼玉指第503号)
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令(川の博物館長と兼務)
- 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令(川の博物館長と兼務)
- 19.11.23 入館者累計250万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令(兼免)
- 20.4.1 環境担当(川の博物館常駐)を設置
- 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界II」開催\*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催\*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用を探る—」開催\*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館  
(講師派遣等館外で行う事業は実施)
- 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごっつおう」開催\*
- 24.4.1 館長 渋澤重雄発令
- 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催\*
- 24.10.6 リフレッシュオープン
- 25.4.1 館長 井上尚明発令
- 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・ひと・モノ—」開催\*
- 26.4.1 館長 井田秀夫発令
- 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催
- 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催\*
- 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン ～ダンゴムシからゾウまで～」開催
- 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ ～魚の生態と伝統漁法～」開催\*
- 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定(パレオパラドキシア及びチチブクジラ計3件県指定解除埼玉指第462、463、503号)
- 28.4.1 館長 中村修美発令
- 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催\*
- 28.8.12 入館者累計300万人達成
- 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物展 ～くらしと植物のステキな関係～」開催
- 29.4.1 館長 木村博昭発令
- 29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」開催\*
- 29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山 ～140種の鉱物のきらめき～」開催
- 30.6.30～9.2 特別展「ハチを知る」開催
- 30.11.3～31.1.6 特別展「カモ・鴨 ～見・知・獲・食～」開催\*
- 31.4.1 館長 飯田徹発令
- 令和**
- 1.7.6～2.1.13 特別展「知って!埼玉 化石でたどる2000万年」開催
- 1.7.13～1.9.1 特別展「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」開催\*
- 2.7.11～2.9.6 特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」開催\*
- 2.9.26～3.2.28 特別展「埼玉記念物100年 —埼玉の天然記念物ってどう思いますか?—」開催
- 3.4.1 館長 橋本強発令
- 3.7.10～3.8.31 特別展「すみか ～身近なすみかを見てみよう～」開催\*
- 3.7.30 「チチブサワラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定(埼玉指第571号)
- 3.10.30～4.2.27 特別展「自然の博物館100年の軌跡」開催
- 4.4.1 館長 田沼康雄発令
- 4.7.9～4.8.31 特別展「海なし雪なし火山なし —ないけどある!埼玉との深い関係—」開催\*
- 4.10.29～5.2.26 特別展「The 蛇紋岩」開催
- 4.11.11 入館者累計350万人達成

\*印 企画=自然の博物館、実施=川の博物館

## II 組織及び職員構成（令和5年度）

### 1 組織



### 2 職員構成（令和5年4月1日現在）

館長 田沼康雄  
 副館長兼主席学芸主幹 西口由子  
 副館長 新井祐司  
 ○総務担当  
 担当課長 菊池拓真  
 主任 松岡敬弘  
 主事 光山馨心  
 ○企画・広報、自然担当  
 主席学芸主幹 岩田明広  
 ○企画・広報担当  
 担当部長 加藤浩一  
 担当課長 横田淳  
 主事 丸山要

○自然担当  
 学芸主幹 井上素子  
 主任学芸員 小林まさ代  
 学芸員 木山加奈子  
 学芸員 半田宏伸  
 学芸員 山岡勇太  
 学芸員 本多里奈  
 学芸員 高橋美織

○環境担当  
 主任学芸員 奥村みほ子  
 主任学芸員 北川博道

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

### 3 人事異動

#### 令和5年3月31日

副館長 飯村光良(退職)  
 総務担当主事 八子拓弥(転出)  
 企画・広報担当担当課長 飯島俊(転出)  
 企画・広報担当主任 秋元清二(転出)  
 環境担当学芸員 須田大樹(転出)

#### 令和5年3月31日

自然担当学芸員 高橋美織(任期満了)

#### 令和5年4月1日

副館長 新井祐司(転入)  
 総務担当主事 光山馨心(新採用)  
 企画・広報担当担当部長 加藤浩一(転入)  
 企画・広報担当主事 丸山要(転入)  
 環境担当主任学芸員 北川博道(転入)  
 自然担当学芸員 高橋美織(臨時的任用)

### Ⅲ 施設の概要

#### 1 所在地

埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1

#### 2 敷地面積

9,948.76㎡

#### 3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

#### 4 各部門及び各室の面積

##### (1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)

エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)、ディスカバリーコーナー(22㎡)、植物コーナー(6㎡)

##### (2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)

講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)

##### (3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)

学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)

##### (4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)

化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)

##### (5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)

第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)

##### (6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)

館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)

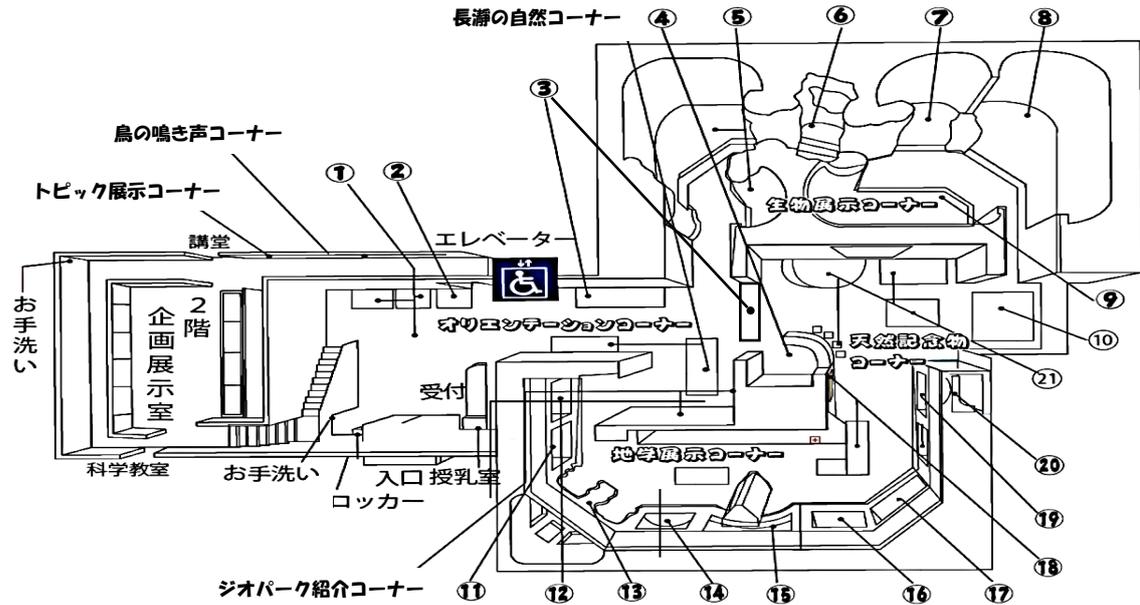
##### (7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)

エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



# IV 展示の概要

## 1 展示ホールの概要



## 2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

### ◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ  
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県のシンボル②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③  
(さわれるはく製コーナー含む)
- ・ ディスカバリーコーナー④
- ・ 植物コーナー⑩

### ◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー  
長瀬の地質  
秩父・長瀬の地質学史と博物館のあゆみ  
長瀬の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層  
2億5000万年前の海の様子⑪  
秩父帯の地層⑫  
秩父鉾山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭  
山中地溝帯  
1億年前の海と陸のようす  
恐竜ガリミスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯
- ・ 砂泥互層

- ・ 第四紀の化石
- ・ 新時代の幕あけ  
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—⑰
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
- ・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑲
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

### ◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

### ◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

### ◇ 企画展示室(2階)

○各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示。

### ◇ トピック展示コーナー(2階)

○季節の移り変わりを中心とした展示。

### ◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

○身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができる。

## V 令和5年度事業計画（令和5年4月1日現在）

### 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努める。

### 2 展示事業

展示の充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施する。

#### (1) 常設展示の充実と維持管理

##### ① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、タイムリーな季節の情報を発信するとともに、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物の更新を随時実施し、資料の劣化防止及び活用を図る。

##### ② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナー、植物コーナーでの展示物の更新を随時実施する。

#### (2) 特別展の実施

##### ① タイトル：「埼玉シェルワールド 一貝からひも解く埼玉の自然」

期間：令和5年10月28日（土）～令和6年2月25日（日）

会場：企画展示室

概要：秩父盆地をはじめ、埼玉県各地で見つかる貝の化石。それは、海なし県の埼玉にも“失われた海”が存在したことを私達に教えてくれる。本特別展では、太古の“埼玉の海”の様子や貝殻に秘められた驚きの生態、進化の歴史を紹介する。

##### ② タイトル：「うんち・糞・フンII」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期間：令和5年7月8日（土）～8月31日（木）

会場：川の博物館

概要：食べ物を摂取して生きている動物にとっては避けて通れない排泄について、糞に注目し、動物によりさまざまな色や形のものがあることを紹介する。また、糞と人との関わりを紹介し、身近な存在である糞の大切さについて考える。

#### (3) 企画展示の実施

##### ① タイトル：「自然の色と模様」

期間：令和5年4月1日（土）～6月18日（日）※前年度から継続

会場：企画展示室

概要：自然界に見られる様々な「色」や「模様」に焦点を当て、その多様性や役割について紹介する。

##### ② タイトル：「はね ―飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー」

期間：令和5年7月1日（土）～10月15日（日）

会場：企画展示室

概要：鳥や昆虫など、空を飛ぶ生きものが持っている「はね」。実は、飛ぶ以外の機能をもった「はね」や、私たちの生活に役立てられている「はね」もある。本展示では、「はね」

を持つ生きものや「はね」の多様な機能を紹介する。

③ タイトル：「入間川流域の自然遺産調査から見えたこと」

期間：令和6年3月9日（土）～3月31日（日）※次年度へ継続

会場：企画展示室

概要：令和元年度から5年度にかけて実施した入間川流域の自然遺産調査の結果、新たに分かった生き物や地質を紹介する。

(4) パネル展示の実施

① タイトル：「発色のしくみ」

期間：令和5年4月1日（土）～6月18日（日）※前年度から継続

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：赤橙黄緑青藍堇…自然界は多様な色にあふれているが、そもそも色が見えるのはどうしてだろう。光と色の関係性や仕組みを、簡単な解説で紹介する。

(5) トピック展示の実施

令和4年度まで「パネル展示」として実施していた事業を「トピック展示」と名称変更し、パネルのみならず実物資料も含んだテーマ性の高い展示を展開する。

① タイトル：「県の石 一埼玉県の岩石・鉱物・化石」

期間：令和5年6月20日（火）～10月15日（日）

会場：2階廊下トピック展示コーナー

概要：日本地質学会が選定した埼玉県の石は、岩石が「片岩」、鉱物が「スティルプノメレン」、化石が「パレオパラドキシア」となっている。それぞれの魅力を詳しく紹介する。

② タイトル：「埼玉のカエデ」

期間：令和5年10月17日（火）～令和6年2月25日（日）

会場：2階廊下トピック展示コーナー

概要：県内に分布する20種のカエデの特徴などを紹介する。

③ タイトル：「空から見た入間川」※次年度へ継続

期間：令和6年2月27日（火）～3月31日（日）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：空撮写真等で入間川本流周辺の地形や自然環境を紹介する。

(6) 共催展示の実施

① 寄居町教育委員会との共催 ※3か年計画の2年目。

タイトル：「寄居町小学校巡回企画展 ～生き物の秘密を大発見！～」

期間：Ⅰ期 6月24日(月)～7月7日(金)

Ⅱ期 10月頃

会場：Ⅰ期 寄居町立寄居小学校

Ⅱ期 寄居町立鉢形小学校

概要：身近に暮らす動物たちを紹介し、環境について考える機会を提供する。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供する。

(1) 自然史講座

7回（7日）

- (2) 観察会 7回 ( 7日)
- (3) ミュージアムトーク 12回 (12日)
- (4) 各団体との共催・協力イベント 9回
- (5) その他の事業 5回
- (6) 学校教育や社会教育への学習支援  
要請に応じて地質分野、生物分野の出張授業や講演・講義、展示解説、自然体験プログラムを実施する。また、教員を対象に当館の学校教育における活用について説明する講座を実施する。
- (7) 研修会の受入れ 2回 ( 2日)  
県立総合教育センター主催の教員研修会を積極的に受け入れる。
- ① 中学校5年経験者研修 (教科別研修・理科) 1回 ( 1日)
- ② 中学校初任者研修 (教科別研修・理科) 1回 ( 1日)
- (8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ
- ① 博物館学芸員実習 (7日間)
- ② 中学生職場体験実習 (3日間)
- ③ 障害者県庁職場実習 (職場体験コース) (3日間)
- (9) 自然の博物館友の会の活動への支援  
野外観察会 (5回)、交流会 (1回) の支援
- (10) 各種印刷物の発行
- ① 館報 第18号
- ② 研究報告 第18号
- ③ ミュージアムカレンダー (イベント年間予定表)
- ④ ニュースレター「澗」 第41号、第42号
- ⑤ 特別展「埼玉シェルワールド 一貝からひも解く埼玉の自然」展示解説書、ポスター及びリーフレット
- ⑥ 川の博物館特別展「うんち・糞・フンⅡ」展示解説書 (執筆・編集) 及びポスター・リーフレット (企画・構成)
- ⑦ 企画展「はね ー飛ぶ羽・鳴く翅・すごいハネー」のポスター及びリーフレット
- ⑧ 企画展「入間川流域の自然遺産調査から見たこと」のポスター及びリーフレット
- ⑨ 展示解説リーフレット
- ⑩ 自然史講座や観察会のテキスト、研究発表会の資料
- (11) HP、twitter の活用
- ① 身近な自然や季節の話題、関連施設や地域の情報等について情報発信
- ② 特別展や企画展、イベント等について紹介
- (12) ボランティアの受入れと研修  
生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高める。
- ① 展示解説ボランティア  
観覧者の要望により随時展示解説を行う。 ※年4回の研修会を行う。
- ② 普及事業ボランティア  
観察会・講座等の事業の補助を行う。

- ③ 資料整理ボランティア  
学芸職員とともに、標本化作業を行う。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア  
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行う。

#### 4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施する。

- (1) 化石標本及び岩石・鉱物系標本の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く埼玉県自然史に関する歴史資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管している自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の公開
- (11) 館内燻蒸のための臨時休館（令和5年9月5日（火）～10日（日）の予定）
- (12) 常設展示メンテナンスのための臨時休館（令和6年1月16日（火）～21日（日）の予定）
- (13) 資料整理のための集中作業期間（令和6年1月23日（火）～26日（金）の予定）
- (14) 登録資料データベースの共通化
- (15) 登録資料の全点チェック（複数年）

#### 5 調査研究事業

館の総合研究テーマ「埼玉の自然史及び自然と人々との関わりに関する研究」に基づき、館の使命である自然史資料の収集・保管及び調査研究による将来への継承を達成するための調査研究を行う。

研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努める。

分野別研究テーマ

- ① 自然分野：埼玉の自然史に関する研究
  - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (1) 組織的に行う総合的調査研究
    - ① 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」  
5カ年計画の5年目で、報告書を刊行する。
    - ② 特別天然記念物カモシカ保護対策事業  
通常調査6カ年計画の6年目。カモシカ保護管理の基礎資料として活用される、カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する現地調査を行う。
  - (2) 収蔵資料の価値付けに係る調査研究
    - ・ 職員や専門家による収蔵資料の同定・再同定
    - ・ 収蔵資料を用いた埼玉の自然史に関する研究
  - (3) 展示及び普及事業に係る調査研究

- ・ 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究
  - ・ 観察会・講座で扱う地域やテーマに関する調査研究
- (4) 職員が総合研究テーマに基づき個人テーマを設定して行う調査研究
- (5) 上記以外の情報収集及び現地調査等
- (6) 外部研究者の受入れと活用

施設や収蔵資料を外部研究者の利用に供することにより研究活動を支援するとともに、共同研究を行うなど埼玉の自然に関わる情報を集積する。

# VI 令和4年度事業報告

## 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めた。

### (1) 歳出決算

(単位：千円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
管理運営費	18,548	13,905	19,069	21,590
資料収集整理事業費	544	587	661	1,036
展示・教育普及事業費	16,451	13,701	12,574	11,453
合計	35,543	28,193	32,304	34,079

### (2) 令和4年度観覧者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	3,167	77	3,244	2,077	4	260	2,337	5,581	26
5	3,928	194	4,122	2,541	4	203	2,744	6,866	27
6	2,107	83	2,190	1,383	12	678	2,061	4,251	26
7	4,104	197	4,301	2,696	14	373	3,069	7,370	31
8	7,148	473	7,621	5,563	5	85	5,648	13,269	31
9	2,722	176	2,898	1,619	11	403	2,022	4,920	21
10	2,691	107	2,798	1,504	27	1,164	2,668	5,466	27
11	5,092	234	5,326	3,231	10	503	3,734	9,060	27
12	1,440	147	1,587	695	6	397	1,092	2,679	24
1	1,253	66	1,319	697	1	21	718	2,037	19
2	2,038	170	2,208	990	2	55	1,045	3,253	24
3	2,213	175	2,388	1,539	3	78	1,617	4,005	27
合計	37,903	2,099	40,002	24,535	99	4,220	28,755	68,757	310

### (3) 施設の利用状況

#### ① 講堂 17件

番号	申請者	利用日
1	学校法人佐藤栄学園 埼玉栄中学校	R4.4.21
2	自然の博物館 友の会	R4.4.22
3	秩父市立西小学校	R4.4.26
4	皆野町立皆野小学校	R4.4.28
5	埼玉県立自然の博物館友の会	R4.5.15

6	日高市立高萩小学校	R4.5.25
7	筑波大学附属視覚特別支援学校	R4.7.15
8	ハッピーテラス熊谷教室	R4.7.2
9	埼玉県新座市立新開小学校	R4.9.14
10	埼玉県立自然の博物館友の会	R4.9.16
11	埼玉県立入間わかくさ高等特別支援学校	R4.9.16
12	埼玉県立本庄特別支援学校	R4.9.27
13	目白研心中学校	R4.10.14
14	皆野町立国神小学校	R4.10.20
15	筑波大学附属視覚特別支援学校	R4.10.21
16	埼玉県立行田特別支援学校	R4.11.18
17	埼玉県立自然の博物館友の会	R5.2.5

② 会議室 6件

番号	申請者	利用日
1	自然の博物館 友の会	R4.4.22
2	秩父地区文化財保護協会	R4.5.12
3	上尾市立大谷中学校	R4.10.11
4	広尾地学研究会	R4.11.26
5	広尾地学研究会	R4.11.27
6	埼玉県立自然の博物館友の会	R5.2.5

## 2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施した。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナー、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しさを演出した。

② 新規受入資料の速報展示

(株) ニッチツ 資源開発本部秩父事業より寄贈された秩父鉱山産鉱物のうち、特に希少な標本3点を秩父鉱山コーナーに設置するとともに、厳選した大型鉱物標本10点について期間を限定して展示した(期間:令和5年1月24日~令和5年5月28日)。

③ 「体験ゾーン」の維持管理

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ディスカバリーコーナーは利用を中止していたが、3月1日より再開した。

## (2) 特別展の実施 \* ( )は副担当

### ① タイトル：「The 蛇紋岩」

期 間：令和4年10月29日（土）～令和5年2月26日（日）

会 場：企画展示室

見 学 者：17,649名

担 当：小林（高橋）

概 要：地質学的にまだ謎の多い「蛇紋岩」とそれに関連する変質岩をテーマに、岩石学的な特徴や、石材から見た埼玉県との関わりを紹介した。



### ② タイトル：「海なし雪なし火山なし ーないけどある！埼玉との深い関係ー」 (企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：令和4年7月9日（土）～令和4年8月31日（水）

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロップ、  
リバーホール、屋外

見 学 者：20,221名

担 当：須田（奥村）

概 要：海、雪国、火山など埼玉に「ない」ものに着目し、日ごろ接する機会の少ない海洋や他地域の自然について学ぶ機会を提供するとともに、関係がないように見えるものも、埼玉や私たちの暮らしと密接に繋がっていることを紹介した。船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて開催した。



## (3) 企画展示の実施 \* ( )は副担当

### ① タイトル：「生きものの名前」

期 間：令和4年4月1日（金）～令和4年6月19日（日） ※3月12日（土）から継続

会 場：企画展示室

見 学 者：15,431名（前年度からの合計 19,055名）

担 当：半田

概 要：和名、学名、埼玉県の地名に縁のある名前など自然界に見られる生きものには色々な名前が付けられている。本展示では当館が扱う資料を中心に名前の付き方やルールなどを紹介した。



### ② タイトル：「奥秩父の自然」

期 間：令和4年7月2日（土）～令和4年10月16日（日）

会 場：企画展示室

見 学 者：28,481名

担 当：山岡（半田）

概 要：1都3県に跨る標高2,000m級の奥秩父山地。本展示では、奥秩父の岩石や生息する動植物を紹介した。



③ タイトル：「自然の色と模様」

期 間：令和5年3月11日（土）～令和5年3月31日（金）

会 場：企画展示室

見学者：3,418名

担 当：木山（本多）

概 要：自然界で見られる色や模様の役割や多様性、私たちの生活に活かされている色や模様を数多くの実物資料で紹介した。



(4) パネル展示の実施 \*（ ）は副担当

① タイトル：「カメラで撮る標本の世界」

期 間：令和4年4月1日（金）～令和4年6月20日（水）※3月1日（火）から継続

会 場：2階廊下 パネル展示コーナー

見学者：15,200名（前年度からの合計 19,721名）

担 当：半田

概 要：昆虫類をはじめとした自然史標本を高精細に撮影し、標本の微細な構造などを写真で紹介した。

② タイトル：「標本製作の技～植物編～」

期 間：令和4年6月21日（火）～令和4年10月16日（日）

会 場：2階廊下 パネル展示コーナー

見学者：29,837名

担 当：木山（半田）

概 要：植物標本の種類や作り方のコツ、学芸員一押しの技あり植物標本を紹介した。

③ タイトル：「水辺の鳥」

期 間：令和4年10月18日（火）～令和5年2月26日（日）

会 場：2階廊下 パネル展示コーナー

見学者：19,441名

担 当：本多（半田）

概 要：身の回りにある水辺と、埼玉県内に生息する水辺の鳥を紹介した。

④ タイトル：「発色のしくみ」

期 間：令和5年2月28日（火）～令和5年6月18日（日） ※5年度に継続

会 場：2階廊下 パネル展示コーナー

見学者：4,048名

担 当：小林（高橋）

概 要：同時期開催の企画展「自然の色と模様」に合わせ、色の見えるしくみを紹介した。

(5) 共催展示の実施

① 寄居町教育委員会との共催 ※3か年計画の1年目。

タイトル：「寄居町小学校巡回企画展 ～生き物の秘密を大発見！～」

期間：Ⅰ期 6月20日(月)～7月1日(金)

Ⅱ期 10月31日(月)～11月11日(金)

会場：Ⅰ期 寄居町立用土小学校

Ⅱ期 寄居町立折原小学校

概要：身近に暮らす動物たちを紹介し、環境について考える機会を提供した。

人数：Ⅰ期 227人

Ⅱ期 137人

(6) 音声ガイド(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数	月	貸出数
R4年4月	※	R4年8月	※	R4年12月	※
R4年5月	※	R4年9月	※	R5年1月	※
R4年6月	※	R4年10月	※	R5年2月	※
R4年7月	※	R4年11月	※	R5年3月	—
				合計	0

※新型コロナウイルス感染予防対策のため使用中止。

3月1日より、貸出方式をやめ、鳥の鳴き声コーナー及び生物展示ホールに常設。

### 3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、以下のような体験学習等の機会を提供しました。

全事業の参加者の合計 7,386 名

#### (1) 自然史講座

7回(7日)実施 参加者 96名

	期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	5.28(土)	顕微鏡で見てみよう	顕微鏡を通して、池の水に潜む動植物プランクトンや、土壌動物を観察する。	13	半田 木山
2	7.16(土)	昆虫標本をつくろう	複雑な形をしている昆虫を詳しく調べるための正しい昆虫の標本作り体験。	10	半田 本多
3	8.5(土)	挑戦！化石のレプリカづくり	認定 10 周年を迎えるジオパーク秩父の楽しみ方や今までの取組みの紹介。	10	山岡 本多
4	10.8(土)	体験！植物標本づくり(初級編)	実物の鉱物標本を使っての鉱物図鑑を作成と鉱物の基本や性質の学習。	13	木山 本多
5	12.3(土)	研究発表会	県民向けに、地質、動物などの分野から、職員や外部研究者の調査研究成果を発表。会場：当館講堂	27	奥村 須田
6	1.28(土)	鉱物標本づくり	鉱物標本を観察しながら、鉱物の基本や性質を学ぶ。簡単な鉱物同定にも挑戦。	13	山岡 高橋
7	3.4(土)	動物の足跡を型取りしよう	地面に残された足跡の石膏型をとり、足跡の主を調べる方法を学びます。	10	本多 半田

#### (2) 観察会

7回(7日)実施 参加者 105名

	期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	4.16(土)	春の岩畳観察会	長瀬駅を起点に博物館までを歩きながらの春の岩畳の自然の観察。	17	半田 高橋 飯島
2	5.14(土)	岩石学のススメ(野外編) ※地質の日関連事業	岩石の分類や名前の付け方といった岩石学の初歩を学んだ後、博物館前の河原で岩石を観察する。	18	高橋 小林 横田
3	6.25(土)	初夏の岩畳観察会	長瀬駅を起点に、のんびりと初夏の岩畳の地形や昆虫、植物を観察しながら博物館まで歩く。	13	木山 本多 秋元
4	9.17(土)	古秩父湾体験ジオツアー	国の天然記念物指定地を訪れ、古秩父湾に思いを馳せるジオツアー。現地では化石採集も行う。	17	山岡 高橋 井上

5	10.22(土)	秋の岩畳観察会	長瀨駅を起点に、のんびりと秋の岩畳の地形や昆虫、植物を観察しながら博物館まで歩く。	14	本多 小林 飯島
6	11.26(土)	ヒスイ輝石の観察会 in 寄居 ※特別展関連事業	埼玉県内で唯一のヒスイ輝石の産地である稚児岩と、その周辺の地質を観察します。	17	小林 井上 横田
7	2.18(土)	ロウバイ香る宝登山で自然観察	早春の宝登山に登りながら、地形や動植物を観察する。	9	本多 木山 秋元

(3) ミュージアムトーク \*イベントのない日曜日に開催予定

全39回を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止

(4) 各団体との共催・協力イベント

6回(75日)実施 参加者231名(集計可能な事業のみ)

	期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
1	7.10(日)	特別展関連事業 講演会「火山のない埼玉の火山災害」	浅間山の天明噴火が利根川中流域に及ぼした被害や埼玉の火山災害について紹介。	川の博物館	37
2	7.29(金)	特別展関連事業 「古秩父湾の化石発掘体験」	古秩父湾堆積層の転石を割って海の生きものの化石を探した。	川の博物館	45
3	8.7(日)	特別展関連事業 「海藻押し葉をつくろう」	東京湾周辺の海藻で押し葉を作成し、海や海藻について学んだ。	川の博物館	41
4	7.31(日) 8.28(日)	特別展関連事業 「学芸員による展示解説」	特別展の企画を担当した学芸員が見どころを解説。	川の博物館	65
5	10.20(土)	埼玉県立総合教育センター 一般公開(総セン主催)	—	県立総合教育センター	※
6	12.11(日)	地図教室「天然記念物『長瀨』の地形を読み解く」埼玉(県立文書館主催)	地形についての理解を深め、地図を用いた野外実習を行う	自然の博物館及び岩畳	10
7	12.23(金) ～ R5.3.1(水)	古秩父湾 Instagram フォトコンテスト (秩父地区文化財保護協会主催)	天然記念物「古秩父湾」に関する写真をSNSに投稿・応募するフォトコンテスト。	—	33

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

## (5) その他事業

9回(53日)実施 参加者 2,052名(集計可能な事業のみ)

	期日	タイトル	内容	会場	参加者数
1	5.21(土) ～ 6.19(日)	青もみじ ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭カエデや館内カルカロドン・メガロドン生体復元模型のライトアップを実施。	自然の博物館	—
2	5.11(水)	展示解説ボランティア研修	展示解説ボランティアの力量を高めるための、接遇、企画展、パネル展に関する研修会及び意見交換会の実施。	自然の博物館	6
3	7.13(水)	展示解説ボランティア研修	展示解説ボランティアの力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会及び意見交換会の実施。	自然の博物館	7
5	7.16(土)	「長瀬観光の日」 記念イベント	長瀬町観光協会に協力し、来館記念水晶プレゼントを実施。	自然の博物館	440
6	11.10(水)	展示解説ボランティア研修	展示解説ボランティアの力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会及び意見交換会の実施。	自然の博物館	5
7	11.11(金) ～ 11.27(日)	紅葉 ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭カエデや館内カルカロドン・メガロドン生体復元模型のライトアップを実施。	自然の博物館	—
8	11.14(月)	県民の日 記念イベント	県民の日クイズ、来館記念水晶プレゼント、館外イベントブース・友の会のブース設置を実施。	自然の博物館	1,586
9	3.22(水)	展示解説ボランティア研修	展示解説ボランティアの力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会及び意見交換会の実施。	自然の博物館	8

## (6) 学校、社会教育関係団体等への学習支援

54件 人数 3,066名

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において、出前授業の実施、講義・講演会の講師派遣により支援を行いました。

## ① 学校への支援

39件 人数 2,175名

番号	日時	学校名・学校関係団体名	学年	人数	種別	内容
1	4.21(木)	埼玉栄中学校	中1	116	体験学習	虎岩の観察
2	4.26(火)	秩父市立西小学校	小4	58	体験学習	虎岩の観察
3	4.28(木)	皆野町立皆野小学校	小2	45	体験学習	虎岩の観察
4	5.25(水)	日高市立高萩小学校	小3	89	体験学習	虎岩の観察
5	6.2(木)	武南中学校	中1	40	体験学習	岩畳の観察
6	6.3(金)	小鹿野町立両神小学校	小2	10	出前授業	タネのはなし
7	6.17(金)	さいたま市立大宮北高等学校	全学年	19	体験学習	岩畳の観察 水生昆虫の観察

8	7.11(月)	秩父市立高篠小学校	小4	42	体験学習	水生昆虫
9	7.12(火)	深谷市立明戸小学校	全学年	204	講演・講座	学校のシンボルツリーのケヤキについて
10	7.13(水)	埼玉県立熊谷西高等学校	高1	43	体験学習	岩畳と紅簾石片岩の観察 (SSH)
11	7.20(水)	立教大学観光学部	大学生	20	講演・講座	ジオストーリー
12	9.14(水)	新座市立新開小学校	小4	73	体験学習	虎岩の観察
13	9.22(木)	上里市立長幡小学校	小3・4	60	体験学習	虎岩の観察
14	9.30(金)	秩父市立尾田蒔小学校	小6	28	出前授業	土地のつくりと変化
15	10.5(水)	所沢市立牛沼小学校	小6	84	出前授業	埼玉県でとれる岩石、化石について
16	10.14(金)	目白研心中学校	中1	69	体験学習	岩畳の観察
17	10.18(火)	深谷市立深谷西小学校	小4	94	体験学習	虎岩の観察
18	10.19(水)	秩父市立秩父第一小学校	小5	21	体験学習	岩畳の観察
19	10.20(木)	皆野町立国神小学校	小1・2	16	体験学習	虎岩の観察
20	10.20(木)	川越市立上戸小学校	小4	89	出前授業	動物のからだのつくり
21	10.21(金)	深谷市立川本南小学校	小4	33	体験学習	岩畳の観察
22	10.21(金)	筑波大学附属視覚特別支援学校 高等部	全学年	23	体験学習	岩石園・虎岩の観察
23	10.25(火)	横瀬町教育委員会(横瀬小学校)	小6	59	出前授業	古秩父湾について
24	10.26(水)	神川町立渡瀬小学校	小4・5	14	体験学習	虎岩の観察
25	10.28(金)	川口市立高等学校附属中学校	中1	88	体験学習	岩畳の観察
26	11.1(火)	入間市立藤沢北小学校	小6	121	出前授業	土地のつくりと変化
27	11.10(木)	北本市立南小学校	小5	57	体験学習	虎岩の観察
28	11.16(水)	深谷市立榛沢小学校	小6	33	出前授業	土地のつくりと変化
29	11.17(木)	秩父市立秩父第一小学校	小6	26	体験学習	化石採取
30	11.18(金)	秩父市立荒川西小学校	小5・6	23	体験学習	化石採取
31	11.25(金)	川越市立福原小学校	小6	134	出前授業	土地のつくりと変化
32	12.2(金)	秩父市立吉田小学校	小6	40	体験学習	岩畳の観察
33	12.7(水)	横瀬町教育委員会(横瀬中学校)	中2	63	出前授業	武甲山植物について
34	12.7(水)	皆野町立国神小学校	小6	14	体験学習	前原の不整合について
35	12.8(木)	大妻嵐山中学校	中2	56	体験学習	岩畳の観察
36	12.9(金)	自由学園 初等部	小5	38	体験学習	化石採取
37	12.9(金)	熊谷市立男沼小学校	小6	14	出前授業	土地のつくりと変化
38	12.16(金)	自由学園 中等科	中3	84	体験学習	岩畳の観察
39	3.8(水)	カリタス女学院中学高等学校	全学年	35	体験学習	岩畳の観察

② 社会教育関係団体等への支援

15件 人数 891名

番号	日時	社会教育関係団体・施設名	年齢層等	人数	種別	内容
1	6.4(土)	立山黒部ジオパーク協会	一般	60	講座・講演	立山黒部ジオパークについて
2	6.23(木)	加須郷土史研究会	一般	61	講座・講演	自然の博物館の歴史 加須の地形について
3	7.10(日)	埼玉県立川の博物館	小学生～一般	37	講座・講演	火山のない埼玉の 火山災害
4	7.18(月)	埼玉県立川の博物館	小学生～一般	308	講座・講演	海の生き物に 触れてみよう
5	7.29(金)	埼玉県立川の博物館	小学生～一般	45	講座・講演	古秩父湾の 化石発掘体験
6	7.31(日) 8.28(日)	埼玉県立川の博物館	一般	65	講座・講演	特別展展示解説
7	8.7(日)	埼玉県立川の博物館	一般	41	講座・講演	海藻押し葉を つくろう
8	9.9(金)	新座市野火止公民館	一般	9	講座・講演	岩畳の成り立ち
9	9.11(日)	日高市立図書館	一般	28	講座・講演	日高の植物・植生から 埼玉の自然を探る
10	10.25(火)	久喜高齢者大学	一般	24	体験学習	岩畳の観察
11	11.1(火)	秩父市	一般	54	講座・講演	ちちぶ学セミナー 秩父の野生生物
12	11.18(金)	埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会	一般	27	体験学習	虎岩・岩畳
13	1.18(水)	日本野鳥の会東京	一般	29	講座・講演	「カワウ」と 「サギ類」について
14	2.13(月)	皆野町公民館	一般	25	講座・講演	秩父地域の昆虫と自然
15	2.18(土)	埼玉県環境科学国際センター	一般	68	講座・講演	埼玉県の希少な 植物群落について

(7) 各種研修会・教育研究団体の受入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載。

2回(2日)実施 参加者 93名

(10.29(木)中学校初任者研修(理科)については、「教員のための博物館の日」に位置付ける。)

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
9.20(火)	中学校5年経験者研修 教科等コース(理科)	(オンライン講義) 博物館を利用した理科教育 荒川の岩石について	41	横田 井上
11.17(木)	中学校初任者研修 教科別研修(理科)	(オンライン講義) 博物館を利用した理科教育	52	横田

**(8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ****2回(10日)実施 参加者 11名**

期 日	タイトル	内 容	参加者数	備 考
8.2(火)～8.10(水) ※8.6(土)、8.7(日)は休み	博物館学芸員実習	展示・資料整理・教育普及等博物館業務の実務実習。	9	埼玉学園大、筑波大、帝京大、帝京科学大、東京大、都立大、八洲学園大(2)、立正大
2.1(水)～2.3(金)	障害者県庁職場実習	広報用グッズづくりの実習	2	

**(9) 自然の博物館友の会の活動への支援****7回(8日)実施 参加者 1,732名**

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
5.13(金)	植物観察会	玉原湿原(群馬県)での植物観察会に同行し、解説。	22	須田
5.15(日)	岩畳の自然観察会	春の岩畳観察会に同行し解説。	22	本多
6.12(日)	動物観察会	釜伏山の動物観察会に同行し、解説。	18	半田
7.24(日) 7.25(月)	宿泊観察会	長野県乗鞍岳と千畳敷カールの植物観察会に同行し、高山棲鳥類について解説。	17	本多
9.11(日)	総合観察会	大谷石の里宇都宮県自然公園での地質観察会に同行し、解説	28	山岡
11.14(月)	県民の日イベント	ミニショップの運営と友の会の活動内容を紹介するブースを提供。	1,586	井上 本多
2.14(火)	交流会	自然の博物館で、動物・植物・地質の各分野の話題提供後の情報交換での指導助言。	39	井上 本多

**(10) ボランティアスタッフの受入れ**

生涯学習や自己実現の場を提供し、博物館活動の質を高めることを目的とする重要なパートナーとして、受け入れた。

ボランティアスタッフ 20名(①～④の重複者あり) 延べ活動日数 73日

- |                   |     |                   |
|-------------------|-----|-------------------|
| ① 展示解説ボランティア      | 10名 | 観覧者に対する展示解説。      |
| ② 普及事業ボランティア      | 15名 | 観察会・講座等の事業の補助。    |
| ③ 資料整理ボランティア      | 13名 | 標本化作業の補助。         |
| ④ 調査・資料収集補助ボランティア | 9名  | 博物館の調査研究・資料収集の補助。 |

(11) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布した。

(表中の「主な配布先」の記号については、表2を参照)

表1

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第17号	・電子データ送付 ・冊子 21部	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第17号	600部	BFG
イベント展示案内(ミュージアムカレンダー) ①前期・②後期(年間イベント案内)	①100,000部 ②30,000部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「澗」第39号～第40号	900部	BFG
企画展「奥秩父の自然」 ①ポスター ②チラシ	①400部 ②15,000部	BCDEFG
特別展「The 蛇紋岩」 ①ポスター ②チラシ ③解説書(図録)	①400部 ②15,000部 ③1,000部+600部	BCDEFG BCDEFG BFG
川の博物館特別展 「海なし雪なし火山なし -ないけどある!埼玉との深い関係-」 ①ポスター ②チラシ ③解説書	①600部 ②30,000部 ③600部	ABCDEFG
企画展「自然の色と模様」 ①ポスター ②チラシ	①400部 ②15,000部	BCDEFG

表2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀨町観光協会、長瀨町内各事業所(店舗、観光施設等)
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイドンステキストなどを必要に応じて作成・印刷し、配布した。



ミュージアムカレンダー  
(イベント案内)



研究発表会要旨集



ニュースレター「澗」40号

## (12) レファレンス数

一般市民をはじめ、マスメディア各社等へのレファレンス数

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
令和4年4月	11	4	14	2	31
令和4年5月	14	3	17	3	37
令和4年6月	9	7	14	1	31
令和4年7月	8	10	13	1	32
令和4年8月	8	10	48	8	74
令和4年9月	8	7	19	3	37
令和4年10月	10	11	12	0	33
令和4年11月	9	3	28	1	41
令和4年12月	13	8	24	1	46
令和5年1月	9	8	17	2	36
令和5年2月	3	2	28	2	35
令和5年3月	5	1	15	0	21
<b>合計</b>	<b>107</b>	<b>74</b>	<b>249</b>	<b>24</b>	<b>454</b>

レファレンス対応を行った主なマスメディアは、NHK テレビ、テレビ埼玉、毎日新聞、東京新聞、埼玉新聞等。

## (13) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、ツイッター）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事などをホームページやツイッターで情報を発信した。

	ホームページ		ツイッター	
	アクセス数	更新回数	ツイート数	ツイートインプレッション数
令和4年4月	58,788	15	238	329,411
令和4年5月	55,430	15	245	366,333
令和4年6月	51,039	24	193	454,627
令和4年7月	65,193	14	224	368,324
令和4年8月	79,982	11	436	442,044
令和4年9月	93,278	9	363	547,174
令和4年10月	68,586	13	801	740,657
令和4年11月	66,251	23	833	831,854
令和4年12月	90,405	14	900	605,567
令和5年1月	69,252	11	656	1,206,567
令和5年2月	71,780	14	719	756,823
令和5年3月	87,742	18	869	353,312
<b>合計</b>	<b>857,726</b>	<b>181</b>	<b>6,477</b>	<b>7,002,693</b>

\* インプレッションとは、ツイートが表示された回数を表す。

イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先

種類	主 な 提 供 先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、公明新聞、フジサンケイビジネスアイ、共同通信、時事通信、NHK、テレビ東京、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、埼玉中央よみうり、埼玉北よみうり、埼玉東よみうり、FM 茶笛、ちちぶ FM
web	○県関連サイト ちよこたび埼玉（埼玉県公式刊行サイト）、生涯学習ステーション、自然大好きクラブ、まいたま ○その他各事業者運営サイト るるぶ、ナビタイムジャパン、イベントバンク、Dokka!おでかけ探検隊、いこーよ、ジョルダン、彩北なび！、リビングさいたま、kadokawa ニュースウォーカー、まっぷる
広報紙 機関紙 情報誌等	○地方自治体関係 県教委だより、彩の国だより、県民手帳 ○その他各事業者 秩父鉄道広報紙「パレット」、なびまる秩父、全科協ニュース、リセマム、あんふあん、



#### 4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施した。

また、自然と川の博物館管理規則により自然の博物館が行うこととされている川の博物館（指定管理者：乃村工藝社）の資料収集に関する業務を実施した。

##### (1) 資料の登録(令和4年度新規登録資料) 合計3,655点

###### ① 地質分野の標本の登録

・岩石(Ro)	31	・無脊椎動物化石(MoF)	14
・鉱物(Mi)	145	・その他無脊椎動物化石(OIF)	1
・化石 脊椎動物化石(VeF)	5		
		合計	196

###### ② 動物分野の標本の登録

・魚類(Pi)	36	・昆虫 有翅昆虫(In)	1593
		合計	1,629

###### ③ 植物分野の標本の登録

・種子植物 被子植物(As)	1,648	・シダ植物(Pt)	178
・裸子植物(Gy)	4		
		合計	1,830

##### (2) 現有資料点数(令和4年度新規登録資料含む)

###### (地質)

岩石(Ro)	1,435	化石	藻類化石(AIF)	113
岩石・鉱物スライド(RMS)	688		脊椎動物化石(VeF)	824
鉱物(Mi)	5,638		甲殻類化石(CrF)	327
地質構造標本(Gs)	40		昆虫化石(InF)	237
第四紀火山砕屑物(Qu)	42		無脊椎動物化石(MoF)	4,900
その他地質資料(OG)	649		その他の無脊椎動物化石(OIF)	792
ボーリング資料(Bo)	68		化石スライド(AFS、PFS、OFS)	1,665
化石 植物化石(P1F)	2,430		生痕化石(TrF)	106
			菌類化石(FuF)	2
		合計		19,956

###### (動物)

脊椎動物 哺乳類(Ma)	601	節足動物 クモ類(Ar)	19
鳥類(Av)	907	ダニ類(Ac)	27
爬虫類(Re)	155	その他の蛛形類(Ad)	2
両生類(Am)	203	甲殻類(Cr)	111
魚類・円口類(Pi)	264	多足類(My)	22
昆虫類 有翅昆虫類(In)	30,713	無脊椎動物 軟体動物(Mo)	1,965
無翅昆虫類(Ap)	38,226	その他の無脊椎動物(Iv)	26
		合計	73,241

〈植 物〉

種子植物	被子植物 (As)	61,702	菌類 (Fu)	3,005
	裸子植物 (Gy)	458	地衣類 (Li)	8,592
シダ植物 (Pt)		7,193	藻類 (Al)	44
コケ植物 (Br)		3,161	植物スライド (Pls)	303
			合計	84,458
				総計 177,655

(3) 受入資料

本年度に受け入れた資料は以下のとおり。

① 寄贈資料

番号	分野	資 料 名	点数	寄贈日
1	植物	さいたま市史証拠標本	1186 点	R5. 1. 6
2	動物	カメムシ類標本	1314 点	R4. 12. 7
3	動物	カメムシ標本 (パラタイプ)	6 点	R5. 3. 7
4	動物	昆虫標本 (ミゾナシミズムシ)	2 点	R5. 3. 7
5	動物	魚類標本	33 点	R5. 3. 7
6	動物	水棲昆虫標本	51 点	R5. 3. 17
7	動物	昆虫標本 (コミズスマシ) 及び 魚類 (メダカ類) 標本	5 点	R5. 3. 17
8	動物	埼玉県産キバネツノトンボ	17 点	R5. 3. 7
9	地質	秩父鉱山産鉱物・岩石標本	144 点	R4. 12. 26
10	地質	山中白亜系産アンモナイト化石	13 点	R5. 3. 30
11	地質	長崎変成岩・肥後変成岩	21 点	R5. 3. 24
12	地質	長瀬町産自然銅標本	1 点	R5. 3. 24
13	地質	長瀬町産自然金標本	1 点	R5. 3. 24

② 提供資料

地質 35 件、植物 25 件、動物 24 件

\* 「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態を受け入れたもの。これらの資料は標本化していないものも含む。

(4) 資料管理

・ IPM に基づいた環境調査

館内 39 カ所に捕虫器を仕掛け、毎月 1 回 (月末) に回収、捕獲したものの中から資料に影響を及ぼす可能性のある昆虫を確認し、それに基づく環境管理を行なった。

館内外 12 カ所にデータロガーを設置し、毎月 1 回 (月末)、1 か月分の温湿度データを確認し、それに基づく環境調査を行った。

・ 収蔵資料点検

館有資料所在点検実施計画に基づき、本年度に確認した館有資料は以下のとおり。

分 野	照合点数	実施回数
動 物	3,760 点	9 回

植 物	5,364 点	7 回
地 質	2,906 点	13 回
合 計	12,030 点	29 回

(5) 資料の特別利用

件数 23 件 点数 1,427 点

(6) 資料の館外貸出

件数 10 件 点数 167 点

(7) 館有資料の展示活用

① 館内での活用 合計 3353 点

(内訳)

- ・常設展 1400 点
- ・特別展「The 蛇紋岩」 67 点
- ・企画展「奥秩父の自然」 190 点
- ・企画展「自然の色と模様」 1696 点

② 館外での活用 合計 110 点

(内訳)

- ・特別展「海なし雪なし火山なし ーないけどある！埼玉との深い関係ー」 110 点  
(企画：自然の博物館、実施・運営：川の博物館)

(8) 収蔵資料の web 公開

収蔵資料の一部を画像として当館ホームページに公開している。

① ベストコレクション 10 点

② 分野別資料 67 点 (動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点)

(9) 生物多様性標本情報データベースへの公開

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「自然史標本情報データベース」に館有資料の情報を提供し、全世界に公開している。提供件数 108,700 件

(10) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料を収集。多くは当館刊行物との交換によるもの。

① 図書資料の収集・整理 182 冊 (文献交換によるもの含む)

② 文献交換状況

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行っている。

(交換先) 国内 298、国外 20

(11) 川の博物館資料の収集

① 寄贈 30 件 58 点

② 製作 8 件 12 点

③ 指定管理者取得 3 件 3 点

(12) 自然と川の博物館資料評価委員名簿（令和4・5年度）

○専門委員

（敬称略）

氏名	役職
石田 健	元東京大学准教授
山口 征矢	東京海洋大学名誉教授
松原 聡	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員
富田 幸光	国立科学博物館名誉研究員
木場 英久	桜美林大学教授
清水 晃	東京都立大学客員研究員／（財）進化生物学研究所客員研究員

※その他、行政委員として、会計管理課長、財務課長、文化資源課長

## 5 調査研究事業

(1) 総合研究テーマ「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記のテーマに基づき分野別研究テーマと個人研究テーマを設け、調査研究にあたった。

① 分野別研究テーマ

- ・自然分野：埼玉の自然に関する研究
- ・環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究

② 個人研究テーマ

- ・岩田 明広 荒川中流域の地形と古代・中世の土地利用について
- ・井上 素子 ①埼玉県の自然災害履歴に関する研究—天明泥流を中心に—  
②埼玉県における自然史及び博物学史に関する研究
- ・須田 大樹 カエデ属の分布・分類に関する研究
- ・小林 まさ代 県内鉱山に関する調査
- ・奥村 みほ子 埼玉県内における野生脊椎動物（特に哺乳類）の生息状況の解明
- ・木山 加奈子 県内の植物（菌類を含む）の分布・生育状況に関する調査
- ・半田 宏伸 ①埼玉県内におけるカマバチ科ハチ類の分布調査  
②キマダラズアカクモバチの新産地における営巣地調査  
③ソボツチスガリの分布調査
- ・山岡 勇太 埼玉県産の貝化石に関する研究
- ・本多 里奈 ①埼玉県内におけるコロニー性鳥類の生息状況調査  
②博物館周辺における鳥類生息状況調査

(2) 研究業績の公表

(1)の研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するよう努めた。

① 当館が発行した刊行物

- ア 埼玉県立自然の博物館研究報告 第17号（ゴシック体：当館職員）  
原著論文5件、短報7件、資料4件を掲載。

○ 原著論文

- ・埼玉県所沢市の地下における更新統の層序 加藤 進 1-12
- ・秩父盆地北西縁部に分布する中新統最下部の礫岩層 岡野裕一 13-28

- ・埼玉県北西部，秩父トータル岩体の地球化学的研究  
高橋美織・関根栄一・川野良信 29-44
- ・埼玉県において再発見されたヨウラクラン *Oberonia japonica* (Maxim.) Makino (ラン科) の生育環境と保全的位置づけの評価  
三村昌史・高杉 茂・五十嵐勇治・岩浪 創・岩田豊太郎・北田義明・小澤正幸・鈴木伸一・大野啓一 45-63
- ・埼玉県におけるキバネツノトンボの生息状況  
岩田朋文・岩田泰幸・内田大貴・佐藤祐治・田悟敏弘・半田宏伸 65-76
- 短報
  - ・埼玉県におけるカワモズク属 2 種及びオキチモズクの初記録  
原口和夫 21-24
  - ・本州中部丘陵域におけるハンゴンソウの分布確認とその生育環境  
小川滋之・山崎茂治・竹内大悟 81-84
  - ・エゾムギ *Elymus sibiricus* L. (イネ科) の三国峠における再発見  
三村昌史・岩田豊太郎・城戸博行 85-90
  - ・埼玉県新産のイズセンリョウ *Maesa japonica* (サクラソウ科)  
岩浪 創・佐藤 清 91-94
  - ・捕獲データとセンサーカメラ調査から見てきたアライグマの冬季の活動状況  
木島求己・橋本琢磨・澤邊佳彦・浅野真輝・川本朋慶・古谷益朗 95-10
  - ・埼玉県熊谷市における採集標本の検討に基づくコミズスマシの記録  
内田大貴・岩田泰幸 101-104
  - ・埼玉県におけるミゾナシミズムシの追加記録  
岩田泰幸・内田大貴・加藤敦史・碓井 徹 105-108
- 資料
  - ・実生を活かした更新補助作業により成立したコナラ若齢林の林相  
松本 薫 109-112
  - ・埼玉県久喜市の用水路で確認された淡水魚類  
高野季樹・古旗峻一・内田大貴 113-118
  - ・埼玉県初記録 17 種を含むカマバチ類 29 種の分布記録 (ハチ目カマバチ科)  
半田宏伸・三田敏治 119-126
  - ・小川町の水田で採集された絶滅危惧種を含む水生甲虫目及び半翅目  
古旗峻一・内田大貴・村橋卓也 127-134
- イ ニュースレター「澗」
  - 39号
    - ・企画展「奥秩父の自然」  
山岡 勇太 2-3
    - ・埼玉にもある！ナラガシワ、埼玉にはない…ミネカエデ ～植物標本からわかること～  
須田 大樹 4-5
    - ・新任学芸員照会  
本多 里奈 6-7
    - ・コラム「自然の博物館のにぎわう広場、twitter」  
飯島 俊 8
    - ・表紙解説「パネル展『カメラで見る標本の世界』で展示できなかった写真  
半田 宏伸 8
    - ・催し物のお知らせ (10月～3月)  
秋元 清二 8

- 40号
  - ・令和4年度特別展「The 蛇紋岩」 小林まさ代 2-3
  - ・秩父鉾山産鉾物標本の展示紹介 高橋 美織 4-5
  - ・埼玉県にもいる天然記念物ニホンカモシカ 奥村みほ子 6-7
  - ・コラム「観るだけで終わらない、何度も来観したくなる博物館を目指して」 秋元 清二

8

- ・展示のお知らせ（4月～9月） 秋元 清二 8
- 表紙解説 本多 里奈 8

ウ 令和5年度研究発表会資料集（通算第27回）

自然の博物館講堂で行った研究発表会（研究発表3件、特別展紹介1件）の資料をまとめたもの。

- 研究発表
  - 「カワウ・アオサギ混合コロニーにおける非対称な情報伝達」 本多里奈
  - 「埼玉県のカメムシ亜目
    - ～主に南東部のファウナの解明に向けて～」 外部研究者 奥田恭介
    - 「上部新生界唐ノ浜層群の層序と貝化石群集」 山岡勇太
    - 「特別展解説 令和4年度特別展「The 蛇紋岩」解説」 小林まさ代

エ 特別展「The 蛇紋岩」展示解説書 小林まさ

代

オ 特別展「海なし雪なし火山なしーないけどある！埼玉との深い関係ー」展示解説書 須田大樹

② 個人論報文・発表

学芸職員による12件の論報文の公表、学会等での発表を行った。

- 岩田 明広
  - ・続・戦国の忍びを追うー忍び戦術に用いた技（忍術）の実像ー・埼玉県立史跡の博物館紀要 (16):160-113.
- 半田 宏伸
  - ・埼玉県内におけるヤマトナナフシヤドリバチの初記録と県内に記録されるナナフシヤドリバチ類の補足. 寄せ蛾記 (185) : 42.
  - ・(論文紹介) 日本から近年新たに記録されたムジナセイボウ (新称) *Chrysis tripotini* Soon, 2010 について. すがれおい (1) : 39-40. (共著)
- 山岡 勇太
  - ・博物館を核とした地域活性化事業におけるジオパークの活用事例. 第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会. (口頭発表)
  - ・更新統唐ノ浜層群穴内層最上部より産出した *Mizuhopecten hokurikuensis* の季節的殻成長と生息環境. 日本地質学会四国支部会. (口頭発表・連名)
- 須田 大樹
  - ・秩父山地におけるミネカエデ・ナンゴクミネカエデの分布や性表現に関する研究. 2022年度

東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林利用者発表会要旨集：p.15.（口頭発表・連名）

- ・埼玉の植生と縄文人の植物利用. 第12回埼玉県学芸員合同研究発表会—ミュージアムフォーラム—資料集：8-12.（口頭発表）
- ・埼玉県の希少な植物群落について. 第9回生きものフォーラム「埼玉県の希少野生植物について考える」資料集：7-10. 埼玉県生物多様性センター・NPO法人いろいろ生きものネット埼玉.（口頭発表）

○ 木山 加奈子

- ・柴崎茂光・八巻一成編『林業遺産—保全と活用に向けて—』（書評）. 林業経済 75（5）：26-30.

○ 本多 里奈

- ・Complete mitochondrial genome of the Japanese Cormorant *Phalacrocorax capillatus* (Temminck & Schlegel, 1850) (Suliformes: Phalacrocoracidae). *Mitochondrial DNA Part B, Resources* (2022) 7(8):1577-1578.
- ・Complete mitochondrial genome of a subspecies of the great cormorant, *Phalacrocorax carbo hanedae* (Kuroda, 1925) (Suliformes: Phalacrocoracidae). *Mitochondrial DNA Part B, Resources* (2023) 8(1):61-63.
- ・カワウ・アオサギ混合コロニーにおける非対称な「盗聴」行動. 日本鳥類学会 2022 年度大会（ポスター発表）

### (3) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業（通常調査）

カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得た。通常調査6か年中の5年目。（期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日）

### (4) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」

令和元年度からの5ヵ年計画の4年目で、補足調査を行った。

#### ①動物分野

- ・入間川上流域で、哺乳類の生息調査を6日間行った。
- ・これまでに採集した昆虫の標本化・同定・整理を行った。

#### ②植物分野

- ・入間川上流域の冷温帯落葉広葉樹林の植物相調査を6日間行った。
- ・採集した維管束植物及び地衣類の同定、標本化、整理を行った。
- ・当館で収蔵されている入間川流域産の蘚苔類標本の再同定・整理を行った。

#### ③地質分野

- ・これまでに採集した化石のクリーニングや同定、整理を行った。

(5) 外部研究者

① 外部研究者の受入れ

令和4年度に受け入れた外部研究者は以下の26名。

	氏名	テーマ	分野	担当者
1	石井克彦	・ガロアムシに関する研究 ・埼玉県における生き物の方言について ・埼玉県に侵入した外来生物の研究 ・トウキョウサンショウウオの現状把握	動物 1	半田
2	岩田泰幸	埼玉県の水生昆虫類の生態及び分布に関する研究 (継続)	動物 2	半田
3	碓井 徹	入間川流域の昆虫相データベースの構築 その2	動物 3	半田
4	内田大貴	埼玉県立自然の博物館魚類コレクションから見た過去の埼玉県の魚類相	動物 4	半田
5	大堀里奈	埼玉県における野ネズミの生息について	動物 5	半田
6	奥田恭介	埼玉県におけるカメムシ目昆虫相の研究	動物 6	半田
7	金子陽子	花粉分析による古環境の復元	地質 1	井上
8	小林健助	花粉分析による古環境の復元	地質 2	井上
9	佐藤 健	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息に関する分布状況の研究	動物 7	半田
10	鈴木幸枝	尾瀬ヶ原のボーリングコアによる古植生の研究	地質 4	井上
11	清家一馬	放射年代を用いた地域的な埋没隆起の復元・古生物相の研究	地質 5	井上
12	関根一昭	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩の成因に関する地質学的研究	地質 6	井上
13	曾根崎 猛史	埼玉県内のハチ目昆虫の生育調査	動物 8	半田
14	平 誠	・陸水プランクトンの分布や生態 ・埼玉県内の植物分布や植物の生活史	植物 1	須田
15	鐵 慎太郎	埼玉県における希少ラン科植物の分布に関する研究	植物 2	須田
16	中村修美	カマアシムシ類の分類と生物地理	動物 9	半田
17	楡井 尊	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	地質 7	井上
18	野澤雅美	埼玉県のカメムシ目昆虫に関する研究 サシガメ類・カスミカメムシ類・キジラミ類を中心として	動物 10	半田
19	古旗峻一	文献および標本資料から明らかにする埼玉県の魚類相	動物 11	半田

20	逸見紀章	展示用や教材として使用できる骨格標本の作製	動物 12	半田
21	本間岳史	1 板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 2 長瀨の地質および研究史等に関する研究 3 ジオパークに関する研究	地質 8	井上
22	牧野彰吾	維管束植物の埼玉県内分布	植物 3	須田
23	町田和彦	哺乳類の生態及び分類の研究 -特にコウモリ類を対象に-	動物 13	半田
24	三上忠仁	埼玉県レッドデータ植物についての検討・調査・報告	植物 4	須田
25	山下 裕	2021 年度県レッドデータ調査種並びに希少植物調査・研究	植物 5	須田
26	吉田考造	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	植物 6	須田

② 外部研究者による研究実績の公表（2023 年度末現在）

○ 岩田 泰幸

林 成多・相馬理央・岩田泰幸・富樫和孝・上手雄貴（2023）本州産ガムシ属の DNA バーコード領域. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (32) : 45-49.

岩田朋文・岩田泰幸・内田大貴・佐藤祐治・田悟敏弘・半田宏伸（2023）埼玉県におけるキバネツノトンボの生息状況. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 65-76.

岩田泰幸（2022）【基礎講座】文化財の虫菌害と防除について. *Goppion Academy Conservation Study series*, 7 : 10-16. (ISSN 2435-8606)

岩田泰幸（2022）埼玉県熊谷市で 1 月に採集されたクビボソコガシラミズムシ. 寄せ蛾記, (186) : 57-59.

岩田泰幸（2023）文献を引用する意義と文献の探し方について. 寄せ蛾記, (187) : 1-4.

岩田泰幸・岩田朋文（2022）埼玉県から初記録となるヒメハバビロドロムシー附・埼玉県から記録のあるヒメドロムシ科のリストー. 寄せ蛾記, (185) : 44-47.

岩田泰幸・高野雄一（2022）埼玉県で最近採集されたケシゲンゴロウ. 寄せ蛾記, (185) : 35.

岩田泰幸・内田大貴（2022）埼玉県におけるクロアシヒゲナガハナノミの追加記録. 寄せ蛾記, (186) : 27-29.

岩田泰幸・内田大貴・加藤敦史・碓井 徹（2023）埼玉県におけるミゾナシミズムシの追加記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 105-108. (3 月発行予定)

相馬 純・岩田泰幸（2022）タタミゲンバイ（新称）*Agramma (Agramma) abruptifrons* の関東地方からの初記録. *Rostria*, (67) : 48-49.

内田大貴・岩田泰幸・上手雄貴（2022）秋田県におけるシジミガムシの記録. さやばねニューシリーズ, (47) : 57-58.

内田大貴・岩田泰幸（2023）埼玉県熊谷市における採集標本の検討に基づくコミズスマシの記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 101-104.

Watanabe R., Iwata Y. and Kato A (2022) Rediscovery of *Helophorus auriculatus* Sharp, 1884 (Coleoptera,

Helophoridae) in Saitama Prefecture, Japan, with ecological notes. Japanese Journal of Entomology New Series, 25(3): 111-116.

山崎 駿・阿部眞大・岩田泰幸・内田大貴 (2022) 千葉県および埼玉県におけるマダラミズカメムシの初記録. *Rostria*, (67) : 130-132.

山崎 駿・富樫和孝・岩田泰幸 (2023) 長野県のため池におけるコガシラミズムシ科 2 種の季節消長. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (32) : 83-89.

○ 碓井 徹

碓井 徹, 2022. 上尾市自然学習館 指導員研修 講師 (4 回)

碓井 徹, 2023.2 月 『長須房次郎トンボ希少種標本について』 関東地方蜻蛉懇談会 (東京) (口頭発表)

碓井 徹, 2022. 中国製竹箒に関する覚え書き (3). 寄せ蛾記, (185): 8-18.

碓井 徹, 2023. 古寺鍾乳洞の動物相調査. 埼玉県指定天然記念物古寺鍾乳洞調査報告書. (2023 年 3 月に刊行予定).

○ 内田 大貴

内田大貴・高野季樹・古旗峻一, 大原庄史, 2022. 東京湾沿岸部(東京都)で確認されたオオトゲバゴマフガムシとその生息環境. さやばね N. S., (46) : 4-7.

内田大貴・高野季樹・野長瀬雅樹, 中村涼, 2022. 東京湾内湾沿岸部に位置する埋立地 (千葉県行徳鳥獣保護区) の水生甲虫目・半翅目相. 千葉生物誌, 72 (1) : 1-13.

谷口倫太郎・内田大貴・加藤阜太, 村橋卓也, 熊谷正裕, 佐藤萌柚, 2022. 関東及び東北地方で採集されたアブラボテ *Tanakia limbata* の記録及び生息環境に関する知見. 日本生物地理学会会報, 77 : 37-46.

内田大貴・高野季樹・大原庄史, 2022. 都立葛西臨海公園鳥類園の水生甲虫目・半翅目相. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, (26) : 8-12.

小和田侑希・内田大貴・北村 亘, 2023. 神奈川県横浜市港北区の鶴見川における特定外来生物ブルーギル (スズキ目: サンフィッシュ科) の食性. 水生動物, 2023 : AA2023-4.

阿部眞大・内田大貴, 2022. 荒川水系芝川 (さいたま市) で採集されたオヨギカタビロアメンボの記録. 寄せ蛾記, (185) : 5-7.

山川 宇宙・内田大貴・津田 吉晃, 2022. 千葉県房総半島東岸で採集された東限記録のトビハゼ. 南紀生物, 64 (1) : 81-84.

久保田潤一・内田大貴・金本敦志, 2022. 千葉県鴨川市小櫃川水系におけるナベブタムシの採集記録. 千葉生物誌, 72 (1) : 14-16.

内田大貴・阿部眞大, 2022. 神川町および日高市で採集されたコチビミズムシの記録. 寄せ蛾記, (186) : 22-23.

岩田泰幸・内田大貴, 2022. 埼玉県におけるクロアシヒゲナガハナノミの追加記録. 寄せ蛾記, (186) : 27-29.

内田大貴・岩田泰幸・上手雄貴, 2022. 秋田県におけるシジミガムシの記録. さやばね N. S., (47) : 57-58.

高野季樹・内田大貴・2022. 東京都本土部において採集されたツヤウミアメンボの記録. 月刊むし, (622) : 39-40.

高野季樹・内田大貴・古旗峻一・野長瀬雅樹, 2022. 千葉県行徳鳥獣保護区の水生甲虫目・半翅目

- 相の追加記録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, (26) : 36-38.
- 内田大貴・佐野真吾, 2022. 伊豆諸島(大島・式根島・三宅島)におけるケシウミアメンボの採集記録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, (26) : 66.
- 古旗峻一・内田大貴, 2022. 東京都稲城市で確認された水生甲虫・半翅類の追加記録. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま, (26) : 33-35.
- 三田村敏正・内田大貴・山川宇宙, 2022. 福島県沿岸部におけるクロチビミズムシの記録. *Rostria*, 67 : 43-45.
- 山崎 駿・阿部眞大・岩田泰幸, 内田大貴, 2022. 千葉県および埼玉県におけるマダラミズカメムシの初記録. *Rostria*, 67 : 130-132.
- 内田大貴・市川靖浩, 2022. 愛知県におけるコヒラタガムシの記録. さやばね N. S, (48) : 9-11.
- 岩田朋文・岩田泰幸・内田大貴・佐藤祐治・田悟敏弘・半田宏伸, 2023. 埼玉県におけるキバナツノトンボの生息状況. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 65-76.
- 岩田泰幸・内田大貴・加藤敦史・碓井 徹, 2023. 埼玉県におけるミゾナシミズムシの追加記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 105-108
- 高野季樹・古旗峻一・内田大貴, 2023. 埼玉県久喜市の用水路で確認された淡水魚類. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 113-118.
- 古旗峻一・内田大貴・村橋卓也, 2023. 小川町の水田で採集された絶滅危惧種を含む水生甲虫目及び半翅目. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 127-134.
- 内田大貴・岩田泰幸, 2023. 埼玉県熊谷市における採集標本の検討に基づくコミズスマシの記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 101-104.
- 小和田侑希・内田大貴・谷口義則・大畑孝二・吉鶴靖則・荒尾一樹・北村 亘, 2023. 愛知県豊田市のため池における侵略的外来種ブルーギル(スズキ目:サンフィッシュ科)の食性, 豊橋市自然史博物館研究報告, 印刷中.
- 内田大貴・2023. 川口市で採集された観賞用メダカの記録. 埼玉県立川の博物館紀要, 印刷中.
- 奥田 恭介
- Okuda K, 2022. A new micropterous species of the Assassin Bug Genus *Sastrapada* Amyot & Serville, 1843 (Hemiptera, Heteroptera, Reduviidae) from Japan. *Journal of Insect Biodiversity* 35(2): 51-59.
- 奥田恭介・小松孝寛, 2022. 「宮崎県の陸生カメムシ」以後に宮崎県から記録されたカメムシ亜目. *Rostria* (67) : 109-118.
- 柴田 閑・野中俊文・奥田恭介, 2022. シコククチブトカメムシを本州から記録. *Rostria* (67) : 65-66.
- 奥田恭介, 2022. 埼玉県におけるコブハリカメムシの記録. *Rostria* (67) : 30-31.
- 奥田恭介, 2022. 岐阜県昆虫目録以後のカメムシ目昆虫の追加記録. 啓蟄 (40) 74 : 2-5.
- 後藤雅浩・奥田恭介・川村 敦・都村琢朗, 2022. 羽生市におけるタガメの採集記録. 寄せ蛾記 (185) : 1-2.
- 奥田恭介・内田大貴, 2022. 嵐山町でヒメトビサシガメを採集. 寄せ蛾記 (184) : 56-57.
- 奥田恭介, 2022. 働きながらカメムシを研究する～その楽しさと苦勞～ 日本昆虫学会第 82 回大会 (口頭発表).
- 奥田恭介, 2022. 日本産ホソサシガメ属の分類学的研究 第三回オンライン基礎昆虫学会議 (オンライン発表).

- 奥田恭介, 2022. 埼玉県のカメムシ亜目～主に南東部のファウナ解明に向けて～令和 4 年度埼玉県立自然の博物館第 27 回研究発表会 (口頭発表).
- 佐藤 健
 

佐藤 健, 2022. クマムシの採取と保存方法 (口頭発表, ブース発表). 理化学研究会実験実習研究大会
  - 曾根崎 猛史
 

塘久夫・曾根崎猛史, 2023. 宮代町トラスト保全 5 号地で見られる昆虫 (その 4・追加と訂正). 寄せ蛾き (投稿中・3 月刊行予定)

曾根崎猛史, 2023. 「令和 4 年度 県内希少野生動植物種」動物種選定調査 (ハチ目報告書). 埼玉県みどり自然課, (非公開)

能見正明・曾根崎猛史, 2023. 夏季現地研修会動物調査報告 (2013 群馬県玉原高原). 埼玉生物, 63, (投稿中・3 月刊行予定)

中川大樹・曾根崎猛史・中村達郎, 2023a. 春季現地調査会動物調査報告 (昆虫類). 埼玉生物, 63, (投稿中・3 月刊行予定)

中川大樹・曾根崎猛史・中村達郎, 2023b. 夏季現地調査会動物調査報告 (昆虫類). 埼玉生物, 63, (投稿中・3 月刊行予定)

中川大樹・曾根崎猛史・中村達郎, 2023c. 秋季現地調査会動物調査報告 (昆虫類). 埼玉生物, 63, (投稿中・3 月刊行予定)
  - 平 誠
 

平 誠, 2022. 令和 4 年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査報告書. NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団. (共著)

平 誠, 2022. 夏季現地調査会植物調査報告 (埼玉県県民の森周辺の植物相). 埼玉生物, 62 : 9-10. (共著)

平 誠, 2022. 十文字小屋のカイフウロはハクサンフウロだった. さいたま植物通信, 53 : 1-2. (共著)
  - 鐵 慎太郎
 

鐵 慎太郎, 2022. 宇野確雄植物コレクションからロベリアソウ *Lobelia inflata* (キキョウ科) を見出す. しぜんしくらしき, (121) : 2-3.

鐵 慎太郎, 2022. ドイツ自然観察記 2 ースラグ上の特殊植物, 山地草原ー. しぜんしくらしき, (121) : 12-15.

鐵 慎太郎, 2022. ヨコヅナツチカメムシを倉敷市の市街地で採集. しぜんしくらしき, (122) : 6.

狩山俊悟・鐵 慎太郎, 2022. 鹿久居島 (古代体験の郷 まほろば) で観察した植物. しぜんしくらしき, (122) : 7-8.

鐵 慎太郎, 2023. ドイツ自然観察記 3 ーブロッケン山ー. しぜんしくらしき, (123) : 7-9.

榎本 敬・鐵 慎太郎, 2023. 吉備路のお彼岸. しぜんしくらしき, (123) : 12.

狩山俊悟・鐵 慎太郎, 2023. 津山市市場でヒゲシバが見つかりました. しぜんしくらしき, (123) : 12-13.

鐵 慎太郎, 2023. 野生化したニンジンボク. しぜんしくらしき, (123) : 16.

鐵 慎太郎, 2023. 岡山県からズングリオヒシバ *Eleusine tristachya* (Lam.) Lam. (イネ科) を報告. 倉敷市立自然史博物館研究報告, 38 : (3 月中に出版予定)

- 中村 修美  
中村修美, 2022. 日本産カマアシムシ類の分類と種同定のための検索. *Edaphologia*, (111): 39-90.
- 野澤 雅美  
野澤雅美, 2022. 埼玉県産半翅類雑記(22). カメムシ類数種の採集記録. 寄せ蛾記(184) : 58-59. 埼玉昆虫談話会.  
野澤雅美, 2022. 庭に氷の華が咲く. みんなの自然史 (93・94 合併号) : 1-2. 埼玉県立自然の博物館友の会.  
野澤雅美, 2022. 埼玉県に分布するキジラミ類 (カメムシ目: 腹吻亜目).  
埼玉県立自然の博物館研究報告 第 16 号 : 85-96.  
野澤雅美, 2022. 長瀨岩畳のカメムシ (おもしろ生態 2 題). みんなの自然史 (93・94 合併号) : 3.
- 古旗 峻一  
古旗峻一, 内田大貴, 村橋卓也, 2023. 小川町の水田で採集された絶滅危惧種を含む水生甲虫目及び半翅目. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17): 127-134.  
内田大貴, 古旗峻一, 2023. 白岡市の水田で確認された水生甲虫 5 種の記録. 寄せ蛾記 (187): 63-64.  
古旗峻一, 内田 大貴, 2022. 東京都稲城市で確認された水生甲虫・半翅類の追加記録. 観音崎自然博物館研究報告 たたらはま, (26): 33-35.  
高野季樹, 内田大貴, 古旗峻一, 野長瀬雅樹, 2022. 千葉県行徳鳥獣保護区の 水生甲虫目・半翅目相の追加記録. 観音崎自然博物館研究報告 たたらはま, (26): 36-38.  
内田大貴, 高野季樹, 古旗峻一, 大原庄史, 2022. 東京湾沿岸部(東京都)で確認された オオトゲバゴマフガムシとその生息環境. さやばねニューシリーズ, (46): 4-7.
- 本間 岳史  
本間岳史, 2022. 令和 3 年度の野外研の活動. 野外調査研究, (6) : 1, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 総会記念講演「山の自然学への招待」の報告. 野外調査研究, (6) : 2-4, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 見学会「早春の遠山記念館と川島町自然堤防を探索する」の報告 (柿沼幹夫と共著). 野外調査研究, (6) : 17-21, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 見学会「深谷断層 (活断層) の断層地形とレトロ街並探訪」の報告 (柿沼幹夫・岡本 浩と共著). 野外調査研究, (6) : 34-35, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 「ジオパーク秩父」認定の経緯と今後の課題. 野外調査研究, (6) : 121-137, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 本の紹介『年輪で読む世界史』. 野外調査研究, (6) : 176-177, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 本の紹介『教養として知っておきたい 博物館の世界』. 野外調査研究, (6) : 178, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 秩父赤壁 (長瀨岩畳対岸) が一部崩落. 野外調査研究, (6) : 180-181, 野外調査研究会.  
本間岳史, 2022. 総会シンポジウム I 「原発問題に地域の人たちとどう取り組むか」に参加して. 地学団体研究会埼玉支部機関誌『秩父の峯』, (255) : 5-6.

本間岳史, 2022. 宮沢賢治と秩父, 日本地質学発祥の地 (肥沼隆弘とちちぶエフエム出演).  
本間岳史, 2022. “地球の窓”長瀬は, 地質学の宝庫 (小茂田 幹とちちぶエフエム出演).  
本間岳史, 2022. ジオパーク秩父の再認定と最近の取り組み (保全計画部会を中心に) (口頭発表). NPO 法人秩父まるごと博物館 ジオパーク講座 (秩父市歴史文化伝承館).  
本間岳史, 2022. ジオパーク秩父にかかわって—ジオパークの理念・歴史— (口頭発表). 野外調査研究会 ジオパーク講座—1 (浦和パルコ).

○ 牧野 彰吾

牧野彰吾, 2022. 令和4年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査業務報告書. 埼玉県環境科学国際センター

牧野彰吾, 2022. 令和4年度埼玉県レッドデータブック植物編改訂調査業務報告書 (3月刊行予定). 埼玉県環境科学国際センター

○ 三上 忠仁

三上忠仁, 2022. ムジナモ自生地調査報告 —植物相 (フロラ) — (口頭発表)

※令和4年度館報の訂正

令和4年度館報に掲載した内容のうち、5 調査研究事業、(5) 外部研究者、② 外部研究者による研究実績の公表 (2022年度末現在) の項におきまして、一部掲載内容に欠落がありましたので、本号にて改めて掲載いたします。

○ 岩田泰幸

山崎 駿・岩田泰幸・富樫和孝・伴 光哲・碓井 徹, 2021. 山梨県におけるイトアメンボの初記録と千葉県で過去に記録されたイトアメンボ属の記録の修正. *Rostria*, (66) : 51-54.

岩田泰幸・神田雅治・内田大貴・栗原 隆, 2021. 栃木県におけるケスジドロムシの生態的知見と生息環境. さやばねニューシリーズ, (43) : 46-52.

富樫和孝・岩田泰幸, 2021. 長野県におけるマルヒラタガムシの記録と越冬に関する若干の知見. さやばねニューシリーズ, (44) : 24-27.

岩田泰幸・内田大貴, 2021. 埼玉県におけるクロサワドロムシ (ヒメドロムシ科) の追加記録. 寄せ蛾記, (182) : 71-72.

内田大貴・岩田泰幸, 2021. 嵐山町で確認されたマルミズムシ. 寄せ蛾記, (182) : 57-58.

岩田泰幸・本橋 剛・本橋ひろこ, 2021. 所沢市におけるハラグロオオテントウの記録と埼玉県内の確認状況. 寄せ蛾記, (182) : 52-53.

奥田恭介・岩田泰幸, 2021. さいたま市におけるコオイムシの採集記録. 寄せ蛾記, (182) : 35-36.

岩田泰幸, 2021. 文化財分野における燻蒸の現状と課題. 文化財保存修復学会通信, (171) : 1-4.

岩田泰幸, 2021. <講座 (前編)>文化財の虫菌害防除と日常管理について. 文化財の虫菌害, (81) : 16-23.

岩田泰幸, 2021. <講座 (後編)>文化財の虫菌害防除と日常管理について. 文化財の虫菌害, (82) : 19-27.

岩田泰幸, 2021. 正の走光性をもつヒメマルカツオブシムシの産卵能力とその侵入リスクについて. 文化財の虫菌害, (82) : 15-18.

内田大貴・岩田泰幸・石川あき子・大野博則，2022. 埼玉県狭山市で確認されたコチビミズムシの記録. 寄せ蛾記，(184)(印刷中：2022年3月までに発行.)

岩田泰幸・児嶋 翼，2022. 埼玉県所沢市におけるスゲハムシの記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告. (2022年3月に発行予定)

内田大貴・岩田泰幸，2022. 嵐山町の水田で確認した絶滅危惧種を含む真水生コウチュウ目の生息状況と既知記録の整理. 埼玉県立自然の博物館研究報告. (2022年3月に発行予定)

(6) 国・地方公共団体・関連団体等への指導・助言

氏名	委員名等	依頼・委嘱	期間
木山加奈子	秩父まるごとジオパーク推進協議会運営委員	秩父まるごとジオパーク推進協議会会長	R4.4.1～ R5.3.31
田沼康雄	埼玉県希少野生動植物種検討委員会委員	埼玉県知事（みどり自然課長）	R3.3.15～ R6.3.14
須田大樹	武甲山特殊植物保護増殖委員会委員	横瀬町教育委員会	R4.4.1～ R6.3.31
須田大樹	埼玉県レッドデータブック植物編改訂調査検討委員会委員	埼玉県知事（みどり自然課長）	R3.4.1～ R5.3.31
須田大樹	東京都自然環境情報の保管に関する検討会有識者	東京都環境局緑環境課自然公園担当課長	R4.4.1～ R5.3.31



Kobaton & Saitamatch

## 埼玉県立自然の博物館報 第18号

---

令和5年7月1日発行

編集・発行 埼玉県立自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬 1417-1

TEL.0494-66-0404 (総務)・0407 (学芸)

FAX.0494-69-1002

E-mail [t660404@pref.saitama.lg.jp](mailto:t660404@pref.saitama.lg.jp)

URL <https://www.shizen.spec.ed.jp/>